

事務事業名	市民への防災講習事業		所属部局	消防本部		単位番号	13040	
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	消防課		課長名	森本一光	
			所属担当	防災指導係		担当者名	丸木寛司	
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目
政策	06	安全な環境づくり	01	一般	09	01	01	030 03
施策	08	防災体制の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 8 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	消防法				
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)					
	①上級・普通救命講習		項目(細節)	金額(千円)		項目(細節)	金額(千円)	
	②AEDを含めた心肺蘇生法の実技指導(救急講習会)		11(01)	892				
③各種防災訓練		11(04)	153					
		18(89)	377					
					計	1,422		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績 ①上級・普通救命講習 ②救急講習会 ③防災訓練等 26年度活動予定 ①上級・普通救命講習 ②救急講習会 ③防災訓練等
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	①②③市民、市内各事業所、学校等
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	①②身近な急病人やけが人等に自信を持って手を差し伸べることが出来るようになる。 ③消火、避難訓練等により災害時に落ち着いた行動がとれる。地震時等も落ち着いた行動がとれ、二次災害等を防げるようになる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	①②③ともに災害発生後の行動、防火防災対策及び応急手当。処置の重要性も教えており救命率の向上や防火防災意識の向上が図れる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 上級・普通救命講習開催回数	回
	イ 救急講習会開催回数	回
	ウ 防災訓練等開催回数	回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 市人口	人数
	イ 市内各事業所・学校等	数
	ウ 市民・各事業所・学校等	数
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 上級・普通救命講習受講者数	人
	イ 救急講習会受講者数	人
	ウ 防災訓練等実施者数	人
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 応急・救命手当に自身が持てた	%
	イ 災害時に落ち着いた行動がとれる	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,133	1,407	1,422	1,422	1,422	1,422	
		事業費計(A)	千円	1,133	1,407	1,422	1,422	1,422	1,422	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	450	450	450	450	450	450	
		延べ業務時間	時間	330	330	330	330	330	330	
		人件費計(B)	千円	1,502	1,502	1,502	1,502	1,502	1,502	
	(A)+(B)	千円	2,635	2,909	2,924	2,924	2,924	2,924	0	
活動指標	ア	回		30.0	14.0	23.0	20.0	20.0	20.0	
		回		55.0	67.0	85.0	70.0	70.0	70.0	
		回		55.0	80.0	91.0	80.0	80.0	80.0	
対象指標	ア	人		160.0	81.0	91.0	100.0	100.0	100.0	
		数		160.0	81.0	91.0	100.0	100.0	100.0	
		数		160.0	81.0	91.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標	ア	人		550.0	202.0	350.0	210.0	210.0	210.0	
		人		3,000.0	2,405.0	3,203.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	
		人		40,000.0	8,732.0	7,770.0	8,800.0	8,800.0	8,800.0	
上位成果指標	ア	%								
		%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	消防本部発足当時から(S49～) 普通救命講習(H8～) 上級救命講習(H23～) 南アルプス市消防本部応急手当普及啓発活動実施要綱、第1条～第3条により継続している事業。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	東日本大震災の発災により、住民の防災意識は高まっており、訓練日程を調整するのも厳しい状況です。暫くの間は防災に対する訓練は増加すると思われる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	知識、技術の他に資器材を用いた訓練希望も増加しており、感謝の言葉以外に訓練資器材の充実化を望む声も多い。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	多数の方に参加を呼びかけ講習回数の増加と共に、啓発活動を継続的にやってきた。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	各種講習会への参加の呼びかけ。

事務事業名	市民への防災講習事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 知識、技術の習得により防災意識の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 各自治体で訓練資器材の確保等、行政で無ければ出来ない事が多い。 行政(消防)は市民(国民)の生命、身体及び財産を保護し災害の被害を軽減することが任務である為、現状が妥当考えます。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 東日本大震災以降防災意識が高まっており、発生率が高まっている東海地震も考慮し、住民の期待に答えられるように訓練資器材の充実等を図り継続する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 この事業は、基礎となるもの(教える内容)がある程度限られているので、安易な考えで変えてしまうと本来の方向性を見失うこととなる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 災害時に弱い市となり、救命率の低下につながる
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在の講習会や各種訓練は、より高度な内容が求められています。訓練用資器材等が不足しており住民の期待に答えつゝにも新たな資器材の購入、老朽化した資器材の更新等を継続的に実施していく為、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全市民、市内事業所、学校等が対象であるため公平公正の事業である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・各講習会や訓練に対し、市民の取り組みが年々積極的になっている。 ・年間をとおし、同じ時期(防災の日等)に講習会等の要望が重なる傾向があり、資器材の不足により多くの要望に答えることが厳しいのが現状です。東日本大震災の影響や東海地震発生懸念も踏まえ、今後さらに要望が増加すると思われる。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 講習会や受講者数を増やすことは、救命率の向上の一助となること、また、火災予防にもつながることから、今後も継続する必要がある。更に、再講習も必要となることから、開催に向けて検討する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 防火防災意識の向上を図る為には、より多くの市民に対する意識啓発が重要である。 費用対効果の視点を持ちつつ、更に充実に向けた取り組みになるよう努める必要がある。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ④																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑨																					